

1. 授業のねらい・概要

情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験である。その中で「IT パスポート試験」は、「職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識をもち、情報技術に携わる業務に就くか、担当業務に対して情報技術を活用していこうとする者」に対して行う。

本科目は、IT パスポート試験に合格するために次の基礎的な知識を得ることを目的とする。

- (1)利用する情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータシステムやネットワークに関する知識をもち、オフィスツールを活用できる。
- (2)担当業務を理解するために、企業活動や関連業務の知識をもち、また、担当業務の問題把握及び必要な解決を図るために、体系的な考え方や論理的な思考力をもち、かつ、問題分析及び問題解決手法に関する知識をもち。
- (3)安全に情報を活用するために、関連法規や情報セキュリティに関する各種規定に従って活動できる。
- (4)業務の分析やシステム化の支援を行うために、情報システムの開発及び運用に関する知識をもち。

2. 授業の進め方

講義形式および演習形式で行う。過去問題から毎回範囲を決めて 50 問出題する小テストを行う。

3. 授業計画

1. ガイダンス、模擬試験、問題解説	9. テクノロジ系：基礎理論（離散数学）
2. ストラテジ系：企業と法務（企業活動）	10. テクノロジ系：基礎理論（アルゴリズム）
3. ストラテジ系：企業と法務（法務）	11. テクノロジ系：基礎理論（プログラミング）
4. ストラテジ系：経営戦略	12. テクノロジ系：コンピュータシステム（コンピュータ構成要素）
5. ストラテジ系：システム戦略	13. テクノロジ系：コンピュータシステム（ソフトウェア、ハードウェア）
6. マネジメント系：開発技術	14. テクノロジ系：技術要素（データベース等）
7. マネジメント系：プロジェクトマネジメント	15. テクノロジ系：技術要素（セキュリティ等）
8. マネジメント系：サービスマネジメント	

4. 到達目標

- ・ IT パスポート試験の概要が理解できる。
- ・ 企業活動や経営管理の概要が理解できる。
- ・ 経営戦略、システム戦略の概要が理解できる。
- ・ システム開発技術の概略が理解できる。
- ・ 情報セキュリティの概略が理解できる。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

教科書の該当単元の予習（60 分）。

小テストの準備（60 分）。

6. 成績評価の方法・基準

定期試験（60%）及び小テスト（40%）により評価する。

7. テキスト・参考文献

テキスト：『よくわかるマスター IT パスポート試験対策テキスト&過去問題集 平成 30-31 年度版』FOM 出版

8. 受講上の留意事項

本科目は、IT パスポート試験を受験することを前提として行う。本科目を受講中または受講後に必ず受験すること。